

福島県立安積高等学校

スーパーサイエンススクール（SSH）第2期実施計画の概要

◇ 指定期間 2019年度～2023年度（5年間を予定）

◇ 研究開発課題名

新しい社会を拓く創造性とレジリエンスを身につけた科学技術系リーダーの育成
～安積の開拓者精神を世界へ～

◇ 目的・目標

社会が直面する課題に積極的に向き合い、科学技術分野で地域から世界を牽引できるリーダーの育成を目的とし、そのために求められる資質・能力を、生徒の主体的・協働的な探究型学習によって育成する教育プログラムと、プログラムを支え、発展させるための新しい地域教育・共創モデルを確立することを目標とする。

◇ 本校で育成を目指す6つの資質・能力

- 新しい社会を創出する高度な知識・技能
- 科学的思考力・判断力
- 表現力・発信力・アピール力
- 多様な価値観を受け入れる寛容性
- 能動的市民性（社会の構成員としての主体性・協働性）
- レジリエンス（困難を乗り越えるしなやかな強さ）

◇ 本校の主な取組

○授業における取組 [1年次]

- ・SS探究Ⅰにおける「地域創生探究」（全生徒）
…フィールドワークや外部講師の講義等を通じて、地域的課題の解決や新たな価値の創出を目指す課題研究
- ・SS情報、SSアカデミーⅠ（全生徒）
…課題研究を支える学校設定科目（本校独自の科目）

○授業における取組 [2・3年次]

- ・SS探究Ⅱにおける「グローバル探究」（全生徒）
…国連の「SDGs 17ゴール」にもとづくテーマ設定によるグローバルな視野に立った発展的課題研究

○SSクラスの編成と取組

- ・科学技術分野のトップリーダー育成を目的に、2・3年次にSSクラスを編成する。
- ・SSアカデミーⅡ（2・3年継続）によるハイレベルな知識・技能、思考力・判断力養成
- ・自然科学系部活動と結びつけた発展的な課題研究への取組
- ・アカデミックインターンシップの実施（2年次）

○国内研修 ※今後、追加や変更の場合があります。

- ・和光理化学研究所研修（希望生徒） 1・2年次 4月
- ・東京大学生産技術研究所研修（希望生徒） 1・2年次 6月
- ・地域研究機関研修（全生徒） 1年次 10月
- ・国内課題先進地域研修（SSクラスを選択した生徒中心） 1年次 12～1月
- ・修学旅行課題先進地域研修（全生徒） 2年次 10月頃

○海外研修

- ・ドイツ研修（SSクラスの生徒中心） 2年次 12～1月
…エッセン市、エッセン大学等での研修・交流

○産・学・官連携

- ・郡山市を中心とした地元自治体、県内外の大学や研究機関、民間企業、
UCバークレー校（アメリカ）、エッセン市、エッセン大学（ドイツ）等との連携

○自然科学部活動における取組

- ・本校にある物理部、化学部、生物部、地学部における研究活動、研究成果の発表・普及

○「シニアサポートネットワーク」

- ・SSH第1期（平成14年度～18年度）メンバーを中心とした、専門分野の第一線で活躍する本校同窓生による探究活動、自然科学系部活動への継続的サポート

○SSH地域連絡協議会

- ・本校教員の他、地域、保護者、卒業生、各連携先の代表者で構成
- ・本校SSH事業における生徒の取組の支援に加え、計画、評価、成果の普及にも参画する
「開かれたカリキュラム・マネジメント体制」の確立

◇ 成果発表・普及・広報

- 研究成果発表会の一般公開
- 科学の甲子園、科学オリンピック、各種コンテスト等への参加
- 各種論文応募 「野口英世賞」、「朝河貫一賞」等
- 小中学生「SSH体験講座」の開催
- Webの配信、広報誌の発行

◇ 福島の復興を担う人材育成

- 県内SSH、SGH（スーパーグローバルハイスクール）、SPH（スーパープロフェッショナルハイスクール）、福島県イノベーション・コースト構想人材育成の各指定校との連携、成果の共有・研究の発展